Pick Up

今月の話題

「小林栄ふるさと記念館」が開館

開館を祝い、テープカットする新城館長（右から４人目）ら

野口英世博士の恩師・小林栄の業績や資料を展示・顕彰する「松亭・小林栄ふるさと記念館」は７月20日、古城町に開館しました。

記念館は、平屋の栄の生家と二階建ての蔵で構成され、栄の書や野口博士からの手紙など約２００点が展示されています。栄のひ孫に当たる小林佑子さんと夫の俊治さんが修繕を行い、栄の号である「松亭」と名付けられました。

式典では、小林栄顕彰会理事長の新城猪之吉記念館長が「記念館には小林先生が当時使用していたものや資料などが数多く展示されています。野口博士とともに小林先生の業績を顕彰していきたい」とあいさつ。前後公町長らが祝辞を述べました。

記念館は10月中旬までの毎週日曜日、午前10時から午後４時まで開館し、入場は無料です。

小林の書などが展示されている蔵

まちの応援マガジン　いなわしろ

広報 猪苗代

Aug.2019 8 No.706

今月の表紙

磐梯まつりのフィナーレを飾る「会津磐梯山総おどり」には約600人が参加して、最後まで祭りを盛り上げました。（関連４～５ページ）

【撮影日】　７月28日
【撮影場所】　中央通商店街

Contents ―【目次】

02　Pick Up
04　第71回磐梯まつり
06　まちのわだい
08　キラッ人いなわしろ／地域おこし協力隊通信
09　スクールトピックス
10　国保のおはなし
12　いなわしろタウンページ
18　暮らしの情報広場
20　みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

朝ドラ放送決定を祝う

福島市の協三工業が横断幕を寄贈

横断幕の設置を喜ぶ関係者

沼尻高原鉄道元職員の半澤さん（右）と妻の重子さん

福島市出身の作曲家古関裕而さんと妻の金子さんがモデルのＮＨＫ朝の連続テレビ小説「エール」の来春からの放送決定を記念した横断幕のお披露目式は７月４日、緑の村で行われ、関係者ら約30人が出席しました。

古関さんが作曲し、丘灯至夫さんが作詞した昭和の大ヒット曲「高原列車は行く」は、かつて町内を走っていた沼尻軽便鉄道がモデルになっていて、昭和28年に同鉄道のディーゼル機関車を製造した福島市の協三工業が横断幕を町に寄贈しました。横断幕は縦１㍍、横14㍍。客車を引く機関車の写真が印刷されています。横断幕は緑の村に保管している同鉄道の車両の前に設置されました。

お披露目式では、沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会の出口陽子会長が「町の観光振興に役立てていきたいです」とあいさつ。協三工業の加藤守社長らがあいさつを述べ、出席者全員で「高原列車は行く」を歌いました。

沼尻高原鉄道の元職員で最終列車の運転手を務めた半澤武男さん（下館）は「横断幕をいただきとてもうれしいです」と話しました。

大勢の家族連れでにぎわう

寿徳寺で「ぼっちぼっちフェス」開催

音楽ライブで盛り上がる来場者

音楽と駄菓子で子どもたちを元気づける「ぼっちぼっちフェス」は７月15日、山潟地区の寿徳寺で開かれました。

境内には射的などの出店が立ち並んだほか、ミュージシャンで二人組のユニット「駄菓子屋Ｒｏｃｋ」がライブ演奏を披露し、音楽に合わせて駄菓子を投げるパフォーマンスを繰り広げました。会場には、音楽と駄菓子を楽しむ大勢の家族連れなどの歓声が響き渡りました。

犯罪のない地域社会を築く

「社会を明るくする運動」強化月間

広報活動出発式で記念撮影する参加者

猪苗代地区の保護司会や更生保護女性会などの関係団体は「社会を明るくする運動」強化月間の７月、犯罪のない明るい社会を築くための活動を繰り広げました。７月１日早朝にはＪＲ猪苗代駅前で啓発活動を行い、参加者がチラシなどの啓発グッズを配り、非行防止などを呼びかけました。また、22日には町内広報活動として広報車で呼びかけを行ったほか、事業所などを訪問して、明るい社会づくりへの協力を求めました。